

I. J-REIT資産規模 (2020年6月末現在)

以下、「前四半期」=「前期」とする。

- ◆投資法人: **63投資法人** (前期末 64投資法人) - 1法人
- ◆物件数: **4,208件** (前期末 4,191件※) + 17件
- ◆資産総額(取得金額ベース): **19兆6,740億円** (前期末 19兆4,811億円※) + 1,929億円
- ◆資産総額(鑑定評価額ベース): **22兆7,624億円** (前期末 22兆4,796億円) + 2,828億円
- ◆4-6月の取得物件: **55件** (前期 92件) - 37件
- " 取得金額: **2,413億円** (前期 4,761億円) - 2,348億円
- ◆4-6月の売却物件: **38件** (前期 18件) + 20件
- " 売却金額: **556億円** (前期 895億円) - 339億円

※アドバンス・レジデンス投資法人の「レジディア南品川Ⅱ」の取得日が、2020/3/23から2020/4/20に変更となつたことから、3月末の物件数及び資産総額（取得金額ベース）を変更しております。

◇投資法人

「スターアジア不動産投資法人」と「さくら総合リート投資法人」は、2020年8月1日を合併の効力発生日として、スターアジア不動産投資法人を吸収合併存続法人、さくら総合リート投資法人を吸収合併消滅法人とする吸収合併を行う予定。

◇資産総額

- ①資産総額は取得金額ベース・鑑定評価額ベースのいずれも過去最大、増加基調継続。ただし、増加幅はやや縮小している。
- ②2015年4月に、《 鑑定評価額ベース > 初回取得金額ベース 》となり含み益発生 2009年11月以来約5年ぶり逆転し、以降も含み益は増加基調を継続。

◇取得・売却

- ①期中の取得件数は55物件、取得金額は約 2,413億円
前期から、取得件数・取得金額ともに減少した。
- ②期中の売却件数は38物件、売却金額は約556億円
前期から、売却件数は増加、一方、売却金額は減少した。

TOREIT月次・四半期報告 年間購読料 165,000円

東急不動産株式会社

TOREIT四半期報告 (2020. 7. 31) 1

無断転載を禁ず。「東急不動産J-REITシステム」(TOREIT)並びに本調査が提供する内容について万全を期してはおりますが、その正確性、完全性に関して保証するものではありません。本調査が提供する情報をご利用の際には、ご自身で当該情報の正確性についてご判断頂く必要があります。

II. 鑑定評価キャップレート

II. 鑑定評価キャップレート(CR)

(1) 取得時鑑定キャップレート(※1) 4.7% +0.5pt

◆4~6月の取得物件 78件 (前期 90件 4.2%) (CRの非開示物件を除く)

①エリア別 (※2)	東京都心5区	8件 : 3.4%	(前期 16件 3.6%)
	その他首都圏	33件 : 4.4%	(前期 45件 4.2%)
	地方	37件 : 5.2%	(前期 29件 4.6%)
②アセットタイプ別	オフィス	10件 : 3.7%	(前期 16件 3.8%)
	共同住宅	11件 : 4.2%	(前期 35件 4.3%)
	ホテル	0件 : —	(前期 10件 4.4%)
	その他	57件 : 5.0%	(前期 29件 4.4%)

※1 物件取得時に開示された鑑定評価における直接還元法の還元利回り

※2 エリア区分 「東京都心5区」…千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区

「その他首都圏」…上記5区を除く18区、東京都下、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県

「地方」…上記2区分(東京都心5区、その他首都圏)以外のすべて

(2) 直近決算鑑定キャップレート(※3) 4.4% ±0.0pt

(※4)

◆前回決算と比較可能な3,641物件

①エリア別	東京都心5区	967件 : 3.7%	(前回決算 3.8%)
	地方	1,154件 : 4.9%	(前回決算 4.9%)
②アセットタイプ別	オフィス	984件 : 4.0%	(前回決算 4.1%)
	共同住宅	1,503件 : 4.3%	(前回決算 4.4%)

※3 直近決算期末(2019年11月~2020年4月)の鑑定評価における直接還元法の還元利回り

その鑑定CRから前回決算期末(2019年5月~2019年10月)の鑑定CRを控除して変動幅を算出

※4 端数処理により横ばいと表記しているが厳密には微減

・各利回りは前期と比較して、上昇:赤、横ばい:黄色、低下:緑で表示しております。

◆鑑定CR

- ①取得時鑑定キャップレートは前期から0.5ポイント上昇。
 - ・エリア別では「地方」及びアセットタイプ別では「その他」の上昇が目立った。
 - ・また、4~6月期のホテルの取得件数はゼロである。
- ②期末鑑定評価におけるキャップレートは前回決算期末からほぼ横ばい。
 - ・エリア別の「東京都心5区」「その他18区」及びアセットタイプ別の「オフィス」「共同住宅」「ホテル」で低下したほかは横ばいとなった。
 - ・2011年7月(対応する決算期末は2010年11月~2011年4月)に、それまでの上昇から下落に転じて以降、低下傾向が継続するものの、下落幅は縮小している。

東急不動産株式会社

TOREIT四半期報告 (2020.7.31)

2

無断転載を禁ず。「東急不動産J-REITシステム」(TOREIT)並びに本調査が提供する内容について万全を期してはおりますが、その正確性、完全性に関して保証するものではありません。本調査が提供する情報をご利用の際には、ご自身で当該情報の正確性についてご判断頂く必要があります。

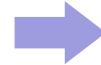
III. 運用時NOI利回り

III. 運用時NOI利回り

(1) 運用時NOI利回り(※1)

4.7%

±0.0%



(※2)

◆全3,660件のNOI利回り (前期 3,607件 4.7%)

① エリア別 東京都心5区 886件 : 4.1% (前期 885件 4.1%)

その他18区 835件 : 4.4% (前期 827件 4.5%)

地方 1,238件 : 5.2% (前期 1,209件 5.3%)

②アセットタイプ別 オフィス 878件 : 4.5% (前期 874件 4.5%)

共同住宅 1,632件 : 4.6% (前期 1,620件 4.7%)

※1 2020年3月末日までに決算期末を迎えた、2020年5月末日までに決算情報が公表された全3,660物件のNOI利回り

※2 端数処理により横ばいと表記しているが厳密には微減

(2) 直近決算運用時NOI利回り(※3)

4.8%

-0.1%



◆前回決算と比較可能な 1,632件

① エリア別 東京都心5区 391件 : 4.1% (前回決算 4.2%)

その他 18 区 385件 : 4.6% (前回決算 4.6%)

地方 516件 : 5.4% (前回決算 5.4%)

②アセットタイプ別 オフィス 431件 : 4.7% (前回決算 4.6%)

共同住宅 727件 : 4.8% (前回決算 4.9%)

※3 2020年2月～2020年4月に決算期を迎えた物件のNOI利回りを、前回決算(2019年8月～2019年10月)のNOI利回りと比較

◆参考データ

①賃料水準 13,180円／月坪 (前回決算 @12,980円／月坪) +1.5%

②稼働率 98.8% (前回決算 98.9%) -0.1pt

利回り等は前期と比較して、上昇:赤、横ばい:黄色、低下:緑で表示しております。

◇NOI利回り

①運用時NOI利回り(年額NOI／期末鑑定評価額)の平均は4.7%で横ばい。

エリア別の「その他18区」「その他首都圏」「地方」、及びアセットタイプ別の「共同住宅」で低下した。一方、エリア別の「東京都心5区」、及びアセットタイプ別の「オフィス」で横ばいのほか、アセットタイプ別の「商業施設」で上昇した。なお、平均利回りは過去最低水準を維持。

②直近決算の運用時NOI利回りを前回決算と比較した結果、エリア別の「都心5区」、及びアセットタイプ別の「共同住宅」で低下した。一方、アセットタイプ別の「オフィス」・「商業施設」・「その他」では上昇した。

東急不動産株式会社

TOREIT四半期報告 (2020. 7. 31)

3

無断転載を禁ず。「東急不動産J-REITシステム」(TOREIT)並びに本調査が提供する内容について万全を期しておりますが、その正確性、完全性に関して保証するものではありません。本調査が提供する情報をご利用の際には、ご自身で当該情報の正確性についてご判断頂く必要があります。

Copyright (C) 2007-2020 TOKYU LAND CORPORATION. All rights reserved.